

News Release

2020.12.24

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
東芝エネルギーシステムズ株式会社
東北電力株式会社
東北電力ネットワーク株式会社
岩谷産業株式会社
旭化成株式会社

福島の再エネ由来水素を活用して ロックバンド「LUNA SEA」がコンサートを開催 —「福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)」で製造した 低炭素水素を提供—

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、「NEDO」)、東芝エネルギーシステムズ株式会社、東北電力株式会社、東北電力ネットワーク株式会社、岩谷産業株式会社および旭化成株式会社は、ロックバンド「LUNA SEA」が12月26日・27日にさいたまスーパーアリーナで開催するコンサートに、福島水素エネルギー研究フィールド(以下、「FH2R」)で製造した水素を提供することとなりました。

提供する水素は、燃料電池自動車(以下、「FCV」)に充填され、FCVに搭載された燃料電池で発電、コンサートで使用される全ての楽器に電気を供給します。

今後もFH2Rでの取り組みを通じ、水素エネルギーの普及拡大に向けた情報発信を進めてまいります。

1. 概要

NEDO、東芝エネルギーシステムズ、東北電力、東北電力ネットワーク、岩谷産業および旭化成は、再生可能エネルギーを利用した世界最大級の水素製造施設「FH2R」において、低コストでクリーンな水素製造技術の確立を目指しております。FH2Rは2020年2月、福島県浪江町にて開所^{※1}し、水素製造の実証試験を開始いたしました。現在FH2Rで製造した低炭素水素は、主に圧縮水素トレーラーやカードル(ガス貯蔵容器)を用いて、定置式燃料電池向けの発電用途として、福島県内の需要先へ供給試験を開始しております。

この度、ロックバンド「LUNA SEA」が開催するコンサートにおいて、FH2Rで製造した低炭素水素が活用されることとなりました。FH2Rから搬送された低炭素水素については、12月23日(水)に、岩谷産業(株)が運営する「イワタニ水素ステーション群馬高崎」において、燃料電池自動車へ充填し、コンサート会場のさいたまスーパーアリーナへ運搬されました。コンサート当日、水素で発電した電気を燃料電池自動車の蓄電池に充電し、外部給電器^{※2}を通じて、ステージ上の全ての楽器に給電する予定です。

2. コンサートについて

(1) 名称

「LUNA SEA -RELOAD-」

(2) 日程

2020年12月26日(土)、27日(日)

(3) 場所

さいたまスーパーアリーナ

【注釈】

※1. 福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)

2020年3月7日に開所式を実施。

再エネを利用した世界最大級の水素製造施設「FH2R」が完成(2020年3月7日ニュースリリース)

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101293.html

※2. 外部給電器

燃料電池自動車や電気自動車の蓄電池から電力を取り出す装置。



図1 福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)



図2 FH2Rで製造した低炭素水素の充填を行った「イワタニ水素ステーション群馬高崎」
(写真提供: 岩谷産業(株))



図3 燃料電池自動車へ水素が充填される様子



図4 「LUNA SEA」コンサートのイメージ(写真は2019年12月に行われたコンサート「LUNA SEA 30th Anniversary LIVE LUNATIC X'MAS 2019」の様子)

以上